

こころざし



発行・編集
 深谷市教育委員会学校教育課
 〒366-0823 埼玉県深谷市仲町11-1
 TEL:048-572-9578 FAX:048-580-3260
 E-mail gakko@city.fukaya.saitama.jp

誰一人取り残さない支援のネットワーク

インクルーシブ教育システムの構築

障害の有無にかかわらず、すべての子供たちが、同じ場で学ぶことを目指すとともに、多様な学びの場の一層の充実・整備を進めています。

◆◇通常の学級での指導・支援◆◇

- 特別な教育的配慮が必要な児童生徒が一定数
在籍(国8.8% 県10.7%)
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業・合理的配慮の実施
- インクルーシブ支援員の配置(19名)によるきめ細やかな支援(深谷市独自)

多様な学びの場の充実

通級指導教室

自己理解・自立を促す

通常の学級に在籍するコミュニケーションが苦手な子、感情のコントロールが難しい子などが、改善を目指して通う教室です。

- ☆ 小学校 7校 (2校新設)
深谷小・藤沢小・上柴西小・桜ヶ丘小
・常盤小・本郷小・川本北小
- ☆ 中学校 2校 (1校新設)
深谷中・上柴中



New! 川本北小では市内初の巡回型指導を行い、深谷小・本郷小の通級担当教員が川本北小で指導を行っています。

きこえとことばの教室

自己肯定感アップ

難聴等による言葉の遅れ、話し言葉や発音に課題のある子などが、改善を目指して通う教室です。

- ☆ 深谷小(2教室)
- ☆ 深谷市立教育研究所(1教室)



特別支援学級

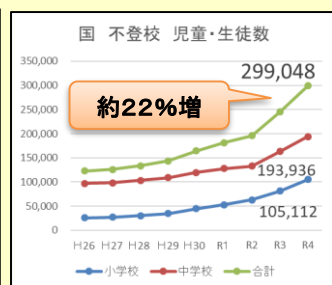
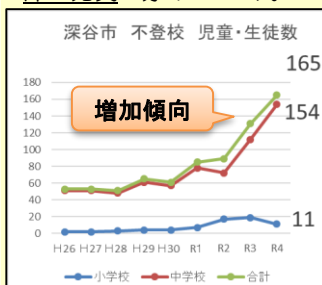
- 1学級最大8名の少人数編制
- 自立活動や実態に応じた教科指導など、特別な教育課程による指導・支援
- 特別支援補助員の配置(32名)によるきめ細やかな支援(深谷市独自)
- 発達支援アドバイザー-2名による訪問支援(深谷市独自)

特別支援学校

- 学習や生活上の困難を改善するための自立活動等

不登校児童生徒への指導・支援の充実

深谷市も全国の傾向同様、不登校児童生徒が急増しています。魅力ある教師、わかる授業、楽しく語りあえる友のいる**魅力ある学校**をつくり上げていくとともに、誰一人取り残さない学びの保障の充実に努めています。



校内教育支援センター「アプローチルーム」

教員免許を持つ学校総合支援員が学校生活に不安を抱く児童生徒等へきめ細やかに指導・支援しています。(深谷市独自)

※ 学校総合支援員26名任用



温かな雰囲気

学校には行けるが、クラスに入れない時や、気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時等に利用できる部屋です。教職員が相談に乗り、児童生徒のペースに合わせて学習のサポート等を行っています。

学習機や各種発行物の掲示等に加え、共に学ぶことのできる大きい机、畳やマットが敷かれた、リラックスできるスペースを整備しています。

利用実人数：**186名** ※R5 1学期の実績
 そのうち 自分が在籍する教室に復帰できた：**18名**
 アプローチルームに入室できた：**20名**

開催

不登校に寄り添う親の交流会

保護者の思いに寄り添い、伴走する交流会を実施(今後の予定:11月6日、12月4日、2月5日)

学校・家庭・地域・関係機関の連携が大切です。学校・深谷市立教育研究所へご相談ください。

深谷市立教育研究所 (048)572-9456

豊かなスポーツ・文化芸術活動を目指して（中学校）

今年度、深谷市教育委員会及び深谷市立中学校では、中学生の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現していくために、中学校の部活動を**2つの柱**で改革していきます。

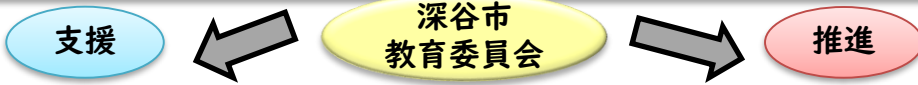
（経緯は「こころざし第56号」R4.10発行 参照）



- ① 部活動数の適正化・部活動時間の工夫
- ② 休日のスポーツ・文化芸術活動における地域連携の在り方についての検討

【現状】少子化による生徒数の減少 → 教職員数の減少 → 部活動数の維持が困難

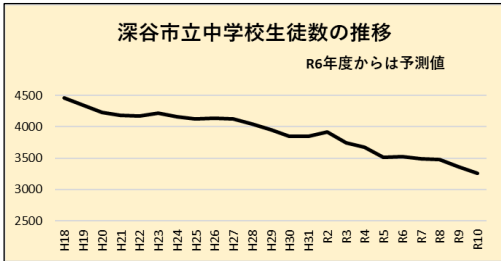
⇒ 学校と地域の連携・協働により、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現する必要がある。



① 部活動数の適正化・部活動時間の工夫

〈部活動数の適正化〉

各学校では、今後の生徒数の推移や生徒の実態を踏まえ、**計画的に部活動数を削減**していきます。既に所属している生徒の活動機会は確保しながら、これから入学する児童へは、しっかり情報を発信していきます。



〈部活動時間の工夫〉

教員の勤務時間内に部活動が行えるように、各学校で**部活動時間を工夫**します。深谷市教育委員会は、シーズン毎に活動時間が異なる、「3シーズン制」の導入を推奨しています。（下図参照）また、朝練習について、埼玉県は「**始業前の朝練習は原則行わない**」とした方針を示しており、深谷市でも見直しを行っております。

【3シーズン制の例】

※あくまで例ですので、実施方法は各中学校により異なります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スタンダードシーズン	チャレンジシーズン				オフシーズン				スタンダードシーズン		

- **チャレンジシーズン**（5月下旬～11月上旬）
⇒ 月・火・水・金で120分の活動時間を確保 ※ 木は活動なし
- **スタンダードシーズン**（2月上旬～5月中旬）
⇒ 月・水・金は100分の活動 火は50分の活動 ※ 木は活動なし
- **オフシーズン**（11月中旬～1月下旬）
⇒ 月・水は100分の活動 火・金は50分の活動 ※ 木は活動なし

② 休日の活動における地域連携の検討

〈地域クラブ活動検討委員会の設置〉

深谷市における今後の地域連携の在り方を検討していくために、地域のスポーツ団体、文化団体の代表者、学校関係の代表者（校長・顧問・PTA）による、話し合いを進めています。

〈地域クラブ活動の「実証事業」の推進〉

埼玉県の方針を踏まえ、休日の部活動を「地域クラブ活動」として、地域と連携しながら行っていく方法を検証します。

（下図参照）

令和5年度は、以下のように進めます。

- ① 実施種目：市内で3種目（予定）
- ② 実施期間：11月～2月（予定）
- ③ 実施日時：土日いずれか3時間（原則土曜日）
- ④ 指導者：スポーツ団体指導者が中心
- ⑤ 費用負担：参加生徒1人あたり500円
※保険料の一部を負担

【深谷市の考え方】

	部活動	
平日	ガイドラインを遵守した活動 ※計画的に部活動を適正数に	合同部活動 生徒数減少 →在り方を検討 【課題】 移動手段 ・交通事故の危険 部活動数適正化の停滞
休日	ガイドラインを遵守した活動 【地域クラブ活動】 ・技術向上を主として活動 ※平日の部活動と連携	R6年度より検討 【地域クラブ活動】 センター方式

- ☆ 平日は部活動を継続
- ☆ 休日の活動を地域クラブ活動として行う方法を検討
- ☆ 課題を踏まえ、合同部活動の在り方を検討

こんな学校の姿を目指します!!

生徒も教師も
ゆとりのある放課後の時間を

生徒・教師にとって
持続可能な部活動を

地域と連携し、様々なスポーツ
・文化に触れる機会を

活動したい生徒・教員が
休日にも活動できる環境を

深谷市は、「魅力ある学校づくり」を進めています。